



アクアフォームを再資源化

断熱吹込み工法用硬質ウレタンブローイング

アクアブロー 

健康で安全な住宅へ

より環境に配慮した
高性能断熱材

アクアブロー

特許出願中

アクアブローは、アクアフォーム施工時に発生した資源をリサイクル利用した吹込み工法用断熱材です。

従来、アクアフォームの残材はサーマルリサイクル(燃料化)により再資源化していましたが、粉砕して断熱材化することで軽量の断熱材になり、吹込み工法に最適な断熱材として生まれ変わりました。資源のリサイクルで無駄がなく、環境に配慮したエコ施工が可能です。

新築物件、リフォーム物件の天井裏への施工で快適な温熱環境がえられます。



アクアブローの5つの特長

1 高断熱

アクアフォームと同じ無数の細かい連続気泡で構成された硬質ウレタンフォームを使用しているため、グラスウールブローイング10k断熱材の約1.5倍の断熱効果を保持しています。

2 安全性

ウレタンは水を使って発泡させているため、オゾン層破壊や地球温暖化の原因となるフロンを全く使用しない、地球に優しい素材です。

3 施工性

吹込み工法なのでアクアフォーム同様に隙間のない施工が可能。施工が容易で施工時間も短縮できます。また、ロックウールやセルローズファイバーのブローイング材と比べ比重が軽く天井への負担が少なく済みます。

4 長期安定性

吹込み後のアクアブローの沈下はほとんど無く、一定の透湿抵抗により断熱材の内部結露も起こりにくく、耐久性に優れています。

5 環境負荷の低減

残材を利用する為、アクアブロー製造時での新たなCO₂の発生を大きく抑制でき、更に燃料化せずに再利用する為、より環境に優しい断熱材といえます。

再資源化の流れ



1 現場で発生したアクアフォームの破材を回収



2 回収した破材を粉砕機に投入



3 アクアブロー用に改良された粉砕機にて粉砕



4 ふわふわのアクアブローの完成

アクアフォーム施工後現場で発生した残材を回収し、専用の粉砕機で加工しアクアブローは製造されます。

※経済産業省が定めるPRTR法第一種特定化学物質(ホルムアルデヒド、ホウ酸等)は含まれておりません。

物性値 物性値 JIS規格 (JIS A 9526 : 2013) の試験方法を準用

品質	種類	アクアブロー
①熱伝導率	W/(m・k)	0.043
②比重	kg/m ³	12~25



広域認定取得! アクアブローは広域認定制度[※]を利用し製品化される断熱材です。

産業廃棄物扱いされていたアクアフォーム端材を建設現場から回収し、製品化している為、環境に優しい商品となります。

※広域認定制度とは? : 産業廃棄物許可の環境省が認定する特例制度。廃棄物の処理を当該製品製造や構造を熟知している製造者等が広域に行う事により、高度な再生処理や第三者が出来ない廃棄物の減量化や適正処理が確保される事を目的とする制度。

株式会社 日本アクア

〒108-0075 東京都港区港南2丁目16番2号 太陽生命品川ビル20階

TEL: 03-5463-1117 (代表) FAX: 03-5463-1118

<http://www.n-aqua.jp/>